

せんなん感染症情報 11月号

宮城県感染症発生動向調査 第42～44週より（令和2年10月12日～11月1日）

宮城県仙南保健所

仙南保健所管内の全数報告疾病

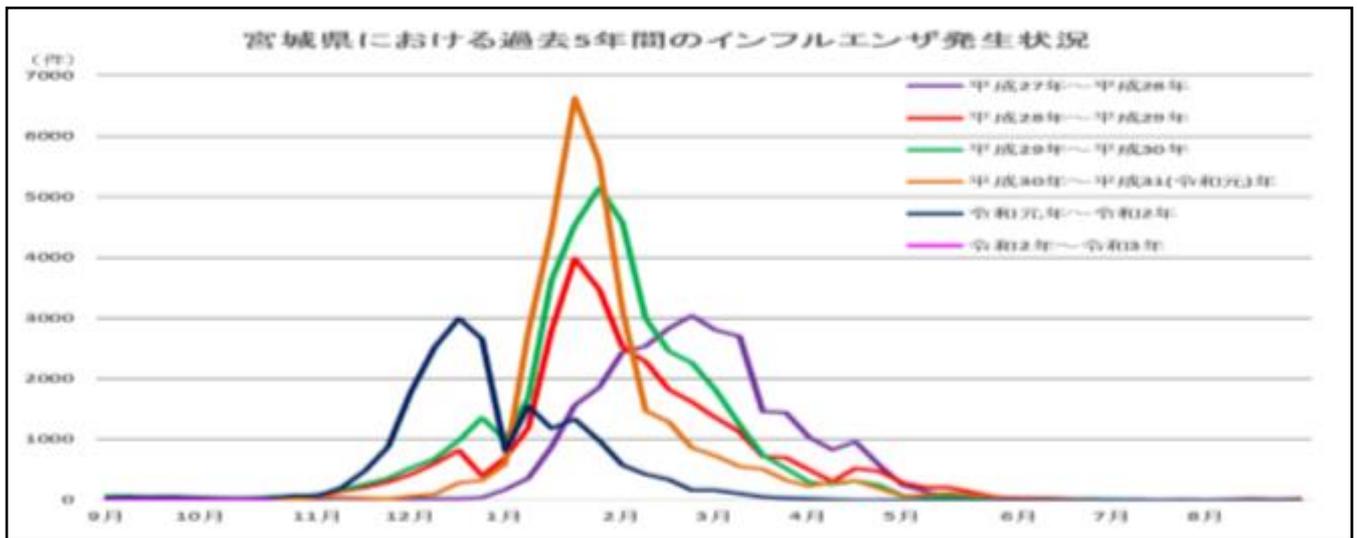
- | | |
|--------------------|------|
| 1 類感染症：報告なし | |
| 2 類感染症：結核 | 男性1名 |
| 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 | |
| O26 | 女性1名 |
| O157 | 女児1名 |
| 4 類感染症：報告なし | |
| 5 類感染症：梅毒 | 男性1名 |

仙南保健所管内の感染症警報・注意報

第44週現在、仙南保健所管内で
警報・注意報の発令はありません。

■ インフルエンザとは

インフルエンザウイルスを原因とし、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状を呈する感染症です。今後、本格的なインフルエンザシーズンに入りますので、手洗いの励行、咳症状があるときのマスクの着用（咳エチケット）、加湿器の使用などの予防対策に努めましょう。



■ インフルエンザにかからないために

① 手洗い・咳エチケットを心がけましょう

- ・外出後は手洗いを徹底しましょう。
- ・石けんによる手洗いは、手指についたウイルスの除去に有効です。
- ・アルコール製剤による手指消毒も効果があります。
- ・咳やくしゃみが出るときは、なるべくマスクをしましょう。

新型コロナウイルス感染症の感染予防にも有効です。

② ワクチン接種を検討しましょう

- ・ワクチンの接種により、インフルエンザが発病する可能性が低減されます。また、インフルエンザに罹った場合の重症化を防止します。
- ・ワクチン接種による効果が出現するまでに2週間程度かかるので、流行前に接種しましょう。
- ・ワクチンの効果持続期間は、一般的に5ヶ月程度です。また、流行するウイルスの型は変わるため毎年のワクチン接種が必要です。

【参考】

厚生労働省「インフルエンザ Q&A」 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

政府広報オンライン「インフルエンザの感染を防ぐポイント」 <http://www.gov-online.go.jp/useful/article/200909/6.html>